

令和元年8月

市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和元年8月7日（水） 13：30～ （約45分）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - （1）ひとり親家庭等の特別相談窓口の開設について（資料番号1）
 - （2）若年性認知症応援団キックオフイベントの開催について（資料番号2）
 - （3）地元建築士と行く！建築まちあるきツアー開催（資料番号3）
 - （4）「フードシェアリングモデル事業」参加店舗・利用者を募集中（資料番号4）
 - （5）令和元年度 市民防災訓練の実施について（資料番号5）
 - （6）ARを使った水害疑似体験の導入について（資料番号6）

市長定例記者会見資料

ひとり親家庭等の特別相談窓口の開設について

8月の児童扶養手当現況届受付期間に併せ、ひとり親家庭の困りごとや、離婚等によりこれからひとり親になることへの不安や心配ごとについて相談できる場として、土曜日と日曜日に各1回ずつ特別相談窓口を開設する。

今年2月に策定した「金沢市子どもの貧困対策基本計画」において、生活の安定を図るための保護者への支援として、養育費確保に向けた相談の充実を掲げており、また、5月の民事執行法の改正により、今後、養育費の不払い者に対する資産の差し押さえがしやすくなることから、養育費に関する取決めの重要性について広く周知を図り、ひとり親家庭の経済的な安定を支援していく。

1. 開設日時

開設日：令和元年8月10日（土）、18日（日）

時 間：9：00～15：00

※原則事前予約制（空きがあれば、予約なしでも対応可能）

予約先：子育て支援課（電話 220-2285）

2. 対象者

- ・ひとり親家庭の保護者
- ・離婚を検討している方

3. 相談内容

内 容	対 応 者
養育費や親権等に関する法律相談（1回30分）	金沢弁護士会弁護士
就労相談	10日：ハローワーク金沢職員 18日：金沢市母子寡婦福祉連合会職員
ひとり親家庭の支援や制度の相談	子育て支援課職員 金沢市母子寡婦福祉連合会職員

4. 会場

市役所1階エントランスホールの特設会場で受付

※子ども連れの相談者に対応するため、児童扶養手当現況届会場入り口付近に託児スペースを設置

ひとりで悩まず、まずご相談を 相談窓口開設のご案内

ひとり親家庭の困りごとや、これからひとり親になることへの不安や心配を、専門の相談員にお気軽にご相談ください。

予約を優先しますので、出来るだけご予約のうえお越しください。

お子様をお連れの方には、
託児スペースも用意し、
ベビーシッターが保育します。



自分だけで解決できない困りごとを、
弁護士など専門相談員と一緒に考え、
問題解決のお手伝いをします。

実施日：令和元年8月10日(土)・18日(日)

相談内容：・弁護士による無料法律相談（養育費など）

・就労相談

・ひとり親家庭の支援や制度の相談

相談時間：9時～15時（14時30分受付終了）

場 所：市役所1階 エントランスホール等

利用時間：1回30分

※ 託児は無料です、必要な場合は当日お申し出ください。

お問合せ先：金沢市子育て支援課 TEL 220 - 2285

市長定例記者会見資料

若年性認知症応援団キックオフイベントの開催について

若年性認知症の方がその人らしく望む生活を送るために、既存の高齢者及び障害者サービスだけでなく、一般個人や団体の中から、自分たちにできることで若年性認知症の方を応援する応援団（パートナー）を増やしていく仕組みを構築し、普及させるため、「若年性認知症の人と家族と寄り添いつむぐ会」との協働により、若年性認知症応援団プロジェクトを展開します。

そのスタート事業として、若年性認知症応援団プロジェクトのホームページを開設するとともに、キックオフイベントを開催し、若年性認知症の方と応援者がつながり、地域全体で支える契機とします。

1. 日 時 令和元年 8 月 29 日（木） 15 時 45 分～17 時 15 分
2. 場 所 金沢歌劇座大集会室
3. 内 容 ①市長あいさつ
②事業説明
若年性認知症応援団プロジェクトの主旨説明
若年性認知症応援団ホームページ及び事例紹介
③徳田雄人氏講演
とくだけひと
（NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事）
演題『これからの企業・行政に求められる役割とは
～認知症フレンドリー社会から考える～』
4. 参加者 企業、行政、医療福祉関係者、一般の方

若年性認知症応援団プロジェクトとは

- ① 若年性認知症の方の「～したい」という希望や望む生活を募集する。
- ② 若年性認知症の方を応援したい個人や団体の自分たちにできることや取り組みを募集する。
- ③ ①と②をホームページ等で発信し、マッチングさせることで、その人に応じた支援につなげるとともに、その拡充を図る。

<具体例>

- ・ オカリナを弾きたいという当事者の方と歌手活動している人をつなげる。
→ オカリナを教えてもらい、仲間に披露できた。
- ・ 集える場所が欲しいという当事者やその家族とレストランやお寺をつなげる。
→ 会場を提供してもらい、定期的集える場所ができた。
- ・ スポーツイベントや美術館のワークショップと一緒に参加する。
→ 外出する機会が増え、趣味の幅が広がった。

はじまる!!
金沢市



応援団とは・・・
若年性認知症の方
の「～したい」と
いう想いや希望の
実現のため、自分
たちにできること
で応援するパート
ナーです

若年性認知症応援団

令和元年8月29日（木） キックオフイベント

つな
がる

「～したい」を応援したい
金沢市若年性認知症
応援団ホームページ開設

金沢市では、本人の「～したい」という想いや若年性認知症の方を応援したい個人や団体が自分たちにできることや取り組みを発信し、お互いにつながるができるホームページを開設します。

8月29日開設予定

学ぶ

これからの企業・行政に
求められる役割とは
～認知症フレンドリー社会から考える～

対象：企業、行政、医療福祉関係者、
一般の方

場所：金沢歌劇座 大集会室

時間：15:45～17:15

申込：不要

講師：徳田 雄人（とくだ・たけひと）

1978年生、NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事。2001年東京大学文学部を卒業後、NHKのディレクターとして、医療や介護に関する番組を制作。09年にNHKを退職し、認知症にかかわる活動を開始。10年より現職。NPOの活動とともに、認知症や高齢社会をテーマに、自治体や企業との協働事業やコンサルティング、国内外の認知症フレンドリーコミュニティに関する調査、認知症の人と家族のためのオンラインショップdfshopの運営などを行っている。

ふか
まる

若年性認知症応援団
はじまるParty

対象：どなたでも
場所：Fusion21

（金沢21世紀美術館内）

時間：18:00～20:00

会費：4,500円

（当日会場にてお支払い下さい）

申込：8/22までに
メールまたは
FAX（裏面）にて
お申込み下さい。

<お問い合わせ先>

○金沢市地域長寿課 TEL：076 - 220 - 2288

○若年性認知症の人と家族と寄り添いつむぐ会

mail：tsumugu_kai@hokuriku-hosp.jp

金沢市・若年性認知症の人と家族と寄り添いつむぐ会

若年性認知症応援団 はじまるParty (8・29) 申込書

FAX番号 076-201-4378

メール tsumugu_kai@hokuriku-hosp.jp

お名前	ご所属	ご連絡先

申し込みは8月22日まで

市長定例記者会見資料

地元建築士と行く！建築まちあるきツアー開催

金沢には、江戸時代の前田家ゆかりの建築や城下町に蓄積された町家、明治時代のレンガ建築や洋館、大正や昭和期の近代建築に加え、最新の現代建築が重層的に存在します。

気候や風土によって育まれた建築物やそれらが形成する個性豊かなまちなみ、そこから醸し出される人々の生活や気質が織りなす金沢の「建築文化」を広く発信するため、本市では、アーキテクチャーツーリズムを推進し、「建築めぐり」を観光コースとして推奨しています。

そこで、金沢の建築めぐりをより深く楽しんでいただくため、地元建築士がコースの企画から当日ガイドまで行う、「地元建築士と行く！建築まちあるきツアー」を開催します。

7月26日に開館したばかりの「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」などの「谷口建築をめぐるコース」のほか、観光地としても人気の施設を中心に、建築士ならではの視点で金沢のまちをご案内します。

1. 内容

建築士のガイドによる市内半日観光ツアー（全8コース：10回）
コース内容については別紙参照

2. 開催日、集合時間・場所

9月1日（日）、15日（日）、29日（日）

10月6日（日）、20日（日）

11月2日（土）、3日（日）、10日（日）、17日（日）、24日（日）

※いずれの日も8：45に金沢駅観光案内所集合

3. 料金

1,000円～2,500円（コースにより異なる）

※料金には、ツアー料・施設入館料・飲食代を含みますが、バス乗車料は含みません。

4. 定員

各コース20名

5. 申し込み方法

金沢市観光協会が運営する、体験やイベント、現地ツアー案内サイト「かなざわ自由時間」からお申し込みができます。

<https://k-jj.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp>

お電話でのお申し込みは、金沢市観光政策課（076(220)2194）まで。

地元建築士と行く! 建築まちあるきツアー

金沢には、江戸時代の前田家ゆかりの建築や城下町に蓄積された町家、明治時代のレンガ建築や洋館、大正や昭和期の近代建築に加え、最新の現代建築など魅力ある建築が市街地に多いことから、「建築めぐり」が注目されています。

そこで、金沢の建築めぐりをより深く楽しんでいただくため、地元建築士がコースの企画から当日ガイドまで行う、「地元建築士と行く! 建築まちあるきツアー」を開催します。是非、ご参加ください。

選べる全8コース

裏面にもコース説明があります。あわせてご覧ください。

●各コースともに 8:45 金沢駅観光案内所集合 《定員》20名

※料金には、施設入館料、コースに明示した飲食代を含みます。
(バス等交通に係る費用は別途各自負担となります)

金沢市立玉川図書館・鈴木大拙館・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館など

●谷口建築をめぐるコース 9月1日(日)・9月15日(日)

2回開催

金沢市立玉川図書館・金沢市文化ホール・北國新聞赤羽ホールなど

●現代建築めぐりコース

11月2日(土)

尾山神社・石川四高記念文化交流館・しいのき迎賓館など

●近代建築をめぐるコース

9月29日(日)

金沢 21 世紀美術館・鈴木大拙館

●金沢の新しい魅力に迫るコース 11月3日(日)・11月17日(日)

2回開催

からくり記念館・宝生寿し・直江家・もろみ蔵など

●大野町の歴史と現代の探索コース

10月6日(日)

成翼閣・石川県立歴史博物館・鈴木大拙館など

●兼六園周辺コース

11月10日(日)

金沢駅前広場・ひがし茶屋街・ひかり蔵・金沢公園など

●変わる金沢 町家・庭園・広場の再生をめぐるコース 10月20日(日)

金沢聖霊修道院聖堂・足軽資料館・旧加賀藩士高田家跡庭園など

●長町武家屋敷界隈をめぐるコース

11月24日(日)



谷口建築をめぐるコース (金沢市立玉川図書館・鈴木大拙館・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館など)

◀詳細・お申し込みは、こちらから



金沢市立玉川図書館



鈴木大拙館



谷口吉郎・吉生記念金沢建築館 ①北嶋俊治

●開催日 9月1日(日)・
9月15日(日)
9:00~12:15

●料金 2,000円(税込)

寺カフェ休憩 抹茶付き



谷口吉郎・吉生記念
金沢建築館
今年7月オープン。建築
家 谷口吉生氏の設計で注
目の最新建築。



講師
株式会社五井建築研究所
代表
西川 英治



近代建築をめぐるコース (尾山神社・石川四高記念文化交流館・しいのき迎賓館など)

◀詳細・お申し込みは、こちらから



尾山神社



石川四高記念文化交流館



しいのき迎賓館

●開催日 9月29日(日)
9:00~11:45

●料金 1,500円(税込)

カフェ休憩 飲み物付き



尾山神社
ステンドグラスが美しい
神門。今回は特別にその
中を見学。



講師
金沢工業大学建築学部建築学科
教授
中森 勉



大野町の歴史と現代の探索コース (からくり記念館・宝生寿し・直江家・もろみ蔵など)

◀詳細・お申し込みは、こちらから



からくり記念館



宝生寿し



もろみ蔵

●開催日 10月6日(日)
9:00~12:50

●料金 1,500円(税込)

醤油ソフトクリームまたは飲み物付き



もろみ蔵
金沢の郊外、海に近い醤油
のまち「大野町」にある醬
油蔵を改装したカフェ。

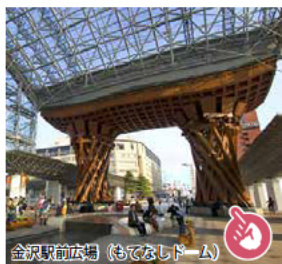


講師
有限会社金沢設計 代表
赤坂 攻



変わる金沢 町家・庭園・広場の再生をめぐるコース (金沢駅前広場・ひがし茶屋街・ひかり蔵・金沢城公園など)

◀ 詳細・お申し込みは、こちらから



金沢駅前広場 (もてなしドーム)



ひがし茶屋街



金沢城公園 (玉泉院丸庭園)

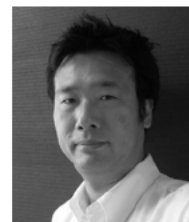
- 開催日 10月20日(日)
9:00~12:00
- 料金 1,500円(税込)

玉泉庵で休憩 抹茶付き



金沢駅前広場

アメリカの旅行誌で「世界で最も美しい駅14選」に選ばれた金沢駅の東西の広場。



講師
金沢計画研究所 所長
漆崎 義和



現代建築めぐりコース (金沢市立玉川図書館・金沢市文化ホール・北國新聞赤羽ホールなど)

◀ 詳細・お申し込みは、こちらから



金沢市立玉川図書館



金沢市文化ホール



北國新聞赤羽ホール

- 開催日 11月2日(土)
9:00~12:15
- 料金 1,500円(税込)

カフェ休憩 飲み物付き



金沢市文化ホール

昨年11月リニューアルオープン。中央の雪吊りを模した屋根が美しい。

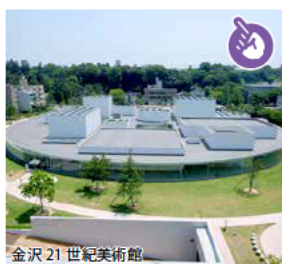


講師
谷重義行建築像景 代表
谷重 義行



金沢の新しい魅力に迫るコース (金沢21世紀美術館・鈴木大拙館)

◀ 詳細・お申し込みは、こちらから



金沢21世紀美術館



鈴木大拙館



緑の小径

- 開催日 11月3日(日)・
11月17日(日)
9:00~12:00
- 料金 1,000円(税込)

ミュージアムショップも面白い!
フリータイムあり



金沢21世紀美術館

SANAA事務所で建設に関わった吉村氏が詳しく解説。



講師
吉村寿博建築設計事務所 代表
吉村 寿博



兼六園周辺コース (成巽閣・石川県立歴史博物館・鈴木大拙館など)

◀ 詳細・お申し込みは、こちらから



成巽閣



石川県立歴史博物館



鈴木大拙館

- 開催日 11月10日(日)
9:00~12:30
- 料金 2,500円(税込)

和菓子と抹茶付き



成巽閣 (せいそんかく)

普段は非公開の「飛鶴庭」、茶室「清香軒」、「清香書院」を見学。



講師
松島健建築設計事務所 主宰
松島 健



長町武家屋敷界隈をめぐるコース (金沢聖霊修道院聖堂・足軽資料館・旧加賀藩士高田家跡庭園など)

◀ 詳細・お申し込みは、こちらから



金沢聖霊修道院聖堂



足軽資料館



旧加賀藩士高田家跡庭園

- 開催日 11月24日(日)
9:00~11:45
- 料金 1,500円(税込)

武家屋敷跡野村家での抹茶付き



金沢聖霊修道院聖堂

ステンドグラスの丸窓と畳敷の礼拝席。美しい和洋折衷の教会。



講師
石川工業高等専門学校建築学科 教授
熊澤 栄二

市長定例記者会見資料

「フードシェアリングモデル事業」



参加店舗・利用者を募集中

フードシェアリングは、店頭で売り切れない食品を必要としている人にウェブアプリを使って紹介・案内するサービスで、廃棄の危機にある食品を割引価格で提供し、食品ロス削減をすることができます。本市では、先月からフードシェアリングモデル事業を開始し、参加店舗とアプリ利用者を募集しています。

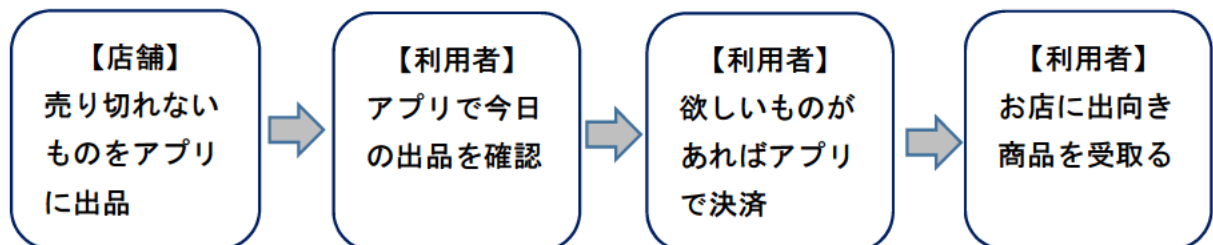
1. フードシェアリングアプリ

関東で展開しているフードシェアリングアプリ「TABETE (タベテ)」を運営する㈱コークッキングに協力をいただき、モデル事業を実施している。

2. 登録の対象店舗

パンや惣菜、弁当などの小売店
テイクアウトが可能な飲食店

3. サービスの流れ



4. モデル事業の状況

- (1) 参加店舗数 23店舗 (7月31日現在)
業種 パン屋、弁当店、カレー店、菓子店 等
- (2) 登録者数 409人 (7月31日現在)
- (3) 出品状況 これまでに26回 (66品) 出品し、41品が購入された
(マッチング率 62%、完売は18回)

5. アプリのダウンロード方法

- 市ホームページのフードシェアリングモデル事業からダウンロード
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/25001/seisaku/syokuhinrosu/food_s.html



- キャンペーンサイトからダウンロード (QRコード)



市長定例記者会見資料

令和元年度 市民防災訓練の実施について

大規模な災害が発生した場合に備え、自主防災組織が主体となる地域主導型の訓練を実施することにより「災害に強いまちづくり」の推進を図ることを目的に本年度も市内3校下・地区にて市民防災訓練を実施します。

1 訓練実施自主防災組織

- (1) 新神田校下防災対策委員会 (14町会 2,061世帯)
- (2) 米泉校下防災対策委員会 (6町会 2,086世帯)
- (3) 西校下自主防災会 (7町会 2,125世帯)

2 訓練実施日時

令和元年8月25日(日) 6:50 ~ 12:00

3 訓練想定

金沢市内で直下型地震が発生(市内各地震度6弱から6強)

4 訓練企画・運営の特徴

- ・自主防災組織の主導型訓練
- ・自主防災組織会長・役員を中心に地域の町会長等が協力して訓練を企画運営
- ・危機管理監及び消防局がサポート

5 主な訓練内容

- (1) まちなか訓練
町会ごとに近くの公園等に避難し、住民の安否や被害状況の確認等の訓練を行います。
- (2) 避難所運営訓練
小学校などに自主防災本部を開設し、避難してきた住民と、初期消火訓練や応急救護訓練、炊き出し訓練等を行います。

【市民防災訓練】

平成7年度から市民震災訓練を実施し平成21年度から行政が主導で行う訓練から、自主防災組織が地域の実情にあった形で企画・運営を行い、訓練を実施する市民協働型の訓練へとステップアップし、名称も市民防災訓練に変更。さらに平成22年度より消防局から危機管理課(当時防災管理課)へ事務移管。

市長定例記者会見資料

ARを使った水害疑似体験の導入について

金沢市では、例年受講希望のあった小学校に対して、水害への備えなどについて、出前授業を実施しているが、今年度より、新たな試みとしてAR（拡張現実）（*1）を使用した水害疑似体験を導入する。

1 目的

自分のいる場所が実際に浸水した場合の映像を見て、浸水による危険をより身近に感じて、イメージすることにより、市民の水防意識を高める。

2 疑似体験について

紙製ゴーグルとスマートフォンを使って、専用アプリによりカメラ映像に浸水画像を重ねて表示することにより、疑似的に浸水を体験する。



画像：愛知工科大学提供

3 実施予定

- ・実施時期 令和元年9月～令和2年3月
- ・実施方法 受講希望のあった市内10小学校の5年生の授業にて実施

	R1. 9. 20	R1. 10. 8	R1. 10. 16	R2. 1. 21	R2. 1. 28	R2. 1. 30	R2. 3. 3
午前	米泉	千坂	米丸	—	伏見台	小坂	押野
午後	—	—	扇台	森山町	十一屋	田上	田上

（*1）AR：Augmented Reality

現実の画像に仮想的な画像を重ねて表示する技術